

第4回 道の駅アリストぬまくま あり方懇談会  
次第

日時：令和7年1月29日(水)

14:00～16:00

- |                   |             |
|-------------------|-------------|
| 1. 開会挨拶           | 14:00～14:05 |
| 2. 第4回懇談会の目的と位置づけ | 14:05～14:08 |
| 3. 第3回懇談会の振り返り    | 14:08～14:10 |
| 4. 機能に関する協議・検討    | 14:10～14:45 |
| 5. 参加者による意見交換     | 14:45～15:55 |
| 6. 閉会挨拶           | 15:55～16:00 |

## ■ 第4回道の駅アリストぬまくまあり方懇談会 参加者一覧

氏名	所属等	区分	備考
藤田 正之	福山市農業協同組合 代表理事専務	関係団体	欠席
佐藤 宣也	千年漁業協同組合 参事	関係団体	代理
藤原 勝彦	沼隈内海商工会 会長	関係団体	
卜部 光央	福山市経済環境局経済部 農林水産振興担当部長	関係団体	
西迫 豪志	有限会社アリストぬまくま 代表取締役社長	関係団体	
田中 博志	株式会社広島銀行 東部統括本部長	金融機関	
宮 崇宏	株式会社広島銀行 千年支店支店長	金融機関	同席
近藤 大介	株式会社中国銀行 千年支店支店長	金融機関	代理
小田 嘉幸	国土交通省 中国地方整備局 福山河川国道事務所副所長 (道路担当)	行政機関	
池上 由美子	広島県 東部建設事務所管理課長	行政機関	
井上 真一	福山市 建設局参事	行政機関	欠席
下川 勇	福井工業大学 工学部教授	学識経験	
辻 紳一	福山市立大学 都市経営学部准教授	学識経験	
小林 仁志	福山商工会議所 専務理事	その他	欠席
石口 和寛	福山観光コンベンション協会 常務理事	その他	代理
加川 倫崇	広島県東部観光推進協議会 会長	その他	

### 【講師】

氏名	所属等
西原 淳	一般社団法人 世羅町観光協会 事業部長

### 【オブザーバー】

氏名	所属等
神原 明子	企画財政局 企画政策部長
岩本 信一郎	経済環境局 文化観光振興部長
鈴木 裕	市民局 まちづくり推進部 南部地域担当部長

### 【事務局】

氏名	所属等
林 茂晃	経済環境局 経済部 農林水産課長
徳永 嘉則	経済環境局 経済部 農林水産課企画担当次長
西田 昇	経済環境局 経済部 農林水産課

### 【コーディネーター】

氏名	所属等
伊藤 順	株式会社船井総合研究所 地方創生支援部
佐々木 貴大	株式会社船井総合研究所 地方創生支援部
富樫 優斗	株式会社船井総合研究所 地方創生支援部

**Confidential**

**令和6年度  
第4回 道の駅アリストぬまくま あり方懇談会  
検討資料**

**株式会社船井総合研究所  
2025年1月29日**

# 本日の内容

1. 開会挨拶
2. 第4回懇談会の目的と位置づけ
3. 第3回懇談会の振り返り
4. 機能に関する協議・検討
5. 参加者による意見交換
6. 閉会挨拶

# 1.開会挨拶



福山市経済環境局経済部  
農林水産振興担当部長 卜部光央

# 2.第4回懇談会の目的と位置づけ

## 令和6年度懇談会の流れ

<p><b>方向性</b></p>	<p>1.懇談会委員間で道の駅再整備の目的・ゴールイメージを共有する。 2.再整備の方向性・コンセプト・機能について検討を進める。</p>
<p><b>内容・スケジュール</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第1回委員会 (2024年7月10日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会の趣旨確認</li> <li>・道の駅事業に対する考え方の共有</li> <li>・基礎調査結果報告</li> <li>・道の駅に対する所感・課題感の共有</li> </ul> </li> <li>■ 第2回委員会 (2024年8月20日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回懇談会の振り返り</li> <li>・地域ブランディング事例の紹介</li> <li>・道の駅に対するイメージ・想い・ビジョンの共有</li> </ul> </li> <li>■ 第3回委員会 (2024年10月30日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会の方向性確認</li> <li>・道の駅ビジョンの共有</li> <li>・道の駅の再整備のコンセプト・ターゲットの検討・確認</li> </ul> </li> <li>■ 第4回委員会 (2025年1月29日) <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3回懇談会の振り返り</li> <li>・機能に関する協議・検討</li> </ul> </li> <li>■ 第5回委員会 (2025年3月予定) <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度検討事項総括</li> <li>・その他必要な検討事項の共有</li> </ul> </li> </ul>

# 2.第4回懇談会の目的と位置づけ

## 第4回懇談会の目的と位置づけ

<p><b>目的</b></p>	<p>第3回懇談会で示された再整備のコンセプト・ターゲットを踏まえて、その実現に相応しい機能の協議・検討を行う。</p>
<p><b>内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第3回懇談会の振り返り 再整備のコンセプト・ターゲットについて再確認を行う。</li> <li>■ 機能に関する協議・検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲット (観光需要のペルソナ像)</li> <li>・機能 (観光・体験)</li> <li>・優良事例紹介～道の駅世羅様 ご講演～</li> <li>・参加者による意見交換                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光需要の獲得に向けた道の駅の「各機能」における方向性・具体的な取り組みについて</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>





世羅町には、日本有数のランニングコースがあります。立派な花壇もあります。甘い甘い果実も採れます。果物の産地らしく、農産物の産地に適した立地条件で育てられた新鮮野菜もあります。

世羅観光の拠点として

- 観光施設
- 産直市場
- 飲食店
- ランニングコース
- 農産物
- 花壇

世羅町には...

- 1 日本有数のランニングコースがあります
- 2 立派な花壇もあります
- 3 甘い甘い果実も採れます。
- 4 果物の産地らしく、農産物の産地に適した立地条件で育てられた新鮮野菜もあります。

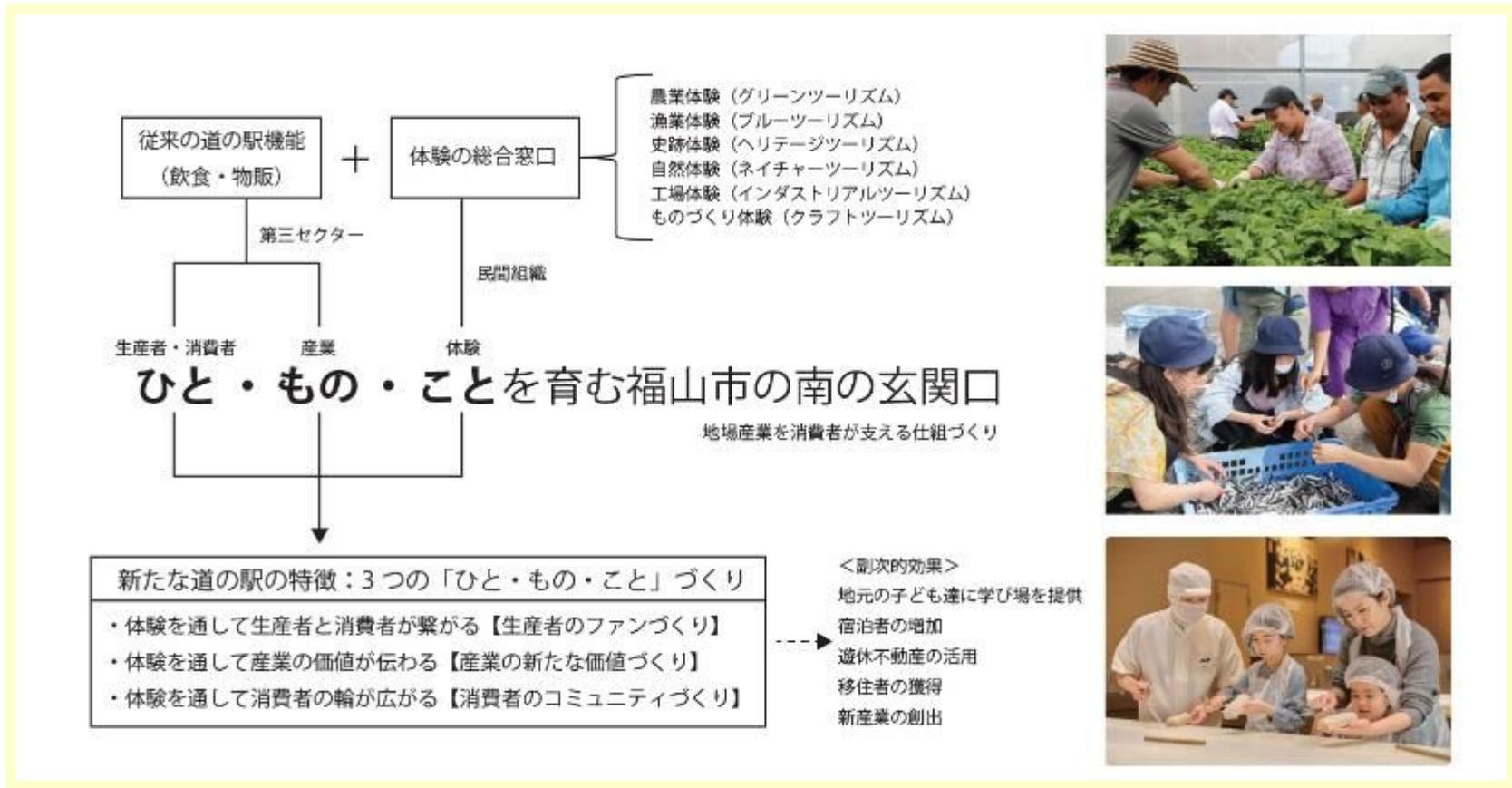
わたしたちは、観光協会として、世羅の観光施設や産直市場、飲食店などを両選する拠点としての役割を担いたい。

そんな思いで道の駅世羅の運営を行っています。野菜を賣りたいというお客様は、お気軽にお声掛けください。近隣の産直市場をご紹介いたします。

# 3.第3回懇談会の振り返り

## コンセプト

### 南部地域の観光振興の拠点～「ひと・もの・ことを育む福山市の南の玄関口」～



## 4.機能に関する協議・検討 観光需要のペルソナ像～① 家族連れの観光客～

- ▶ 機能の検討に移る前に、今後拡大を目指すターゲットである「観光需要」について、「具体的にどのような人の来訪が想定されるのか」についてペルソナ像を明確化する。なおここでは、「道の駅アリストぬまくまを訪れる5年後のペルソナ」を想定する。
- ▶ ペルソナ像の一つ目は「家族連れの観光客」である。道の駅を「観光地」として訪れることを想定している。具体的なペルソナ像は下記のとおりである。



- 名前 : 田中 健一
- 年齢 : 40歳
- 職業 : サラリーマン
- 家族構成 : 妻と2人の子ども (7歳と10歳)
  
- 背景と目的
  - ・週末や連休に家族での小旅行を楽しむことが趣味。
  - ・子どもたちに「自然」や「地方の文化」を体験させたいと考えている。
  - ・道の駅アリストぬまくまの「新鮮な食材」や「地元の特産品」を楽しみにしている。
  - ・子どもたちが楽しめる「アクティビティ」や「体験プログラム」を探している。
  
- 期待する体験
  - ・地元の食材を使った美味しいレストランやカフェ。
  - ・子どもたちが楽しめる農業体験やクラフトワークショップ。
  - ・地元の歴史や文化に触れることができる展示やイベント。

# 観光需要のペルソナ像～② ソロツアーリスト～

- ▶ ペルソナ像の二つ目は「ソロツアーリスト」である。ペルソナ像①に対して、一人で訪れる観光客を想定している。
- ▶ 具体的なペルソナ像は下記のとおりである。



- 名前 : 山田 美咲
- 年齢 : 28歳
- 職業 : フリーランスのライター
- 家族構成 : 独身

## ■ 背景と目的

- ・ 自然や地方の文化に強い興味を持っており、一人での旅行を楽しむ。
- ・ 執筆のためのインスピレーションを求めて、各地を訪れている。
- ・ 道の駅アリストぬまくまでは、「地元の人々との交流」や「特産品の購入」を楽しみにしている。
- ・ 静かな環境でリラックスしながら仕事をする場所を探している。

## ■ 期待する体験

- ・ 無料Wi-Fiや電源があるカフェスペース。
- ・ 地元の工芸品や特産品を扱うショップ。
- ・ 地元の人々との交流イベントやワークショップ。
- ・ 美しい自然景観や静かな場所でのリラックスした時間。

# 観光需要のペルソナ像～③ インバウンド（海外からの観光客）

## ・文化探求のシニアカップル～

- ▶ ペルソナ像の三つ目としては、「インバウンド(海外からの観光客)」が挙げられる。福山市のインバウンド数は29,000人(令和5[2023]年 広島県観光客数の動向)であり、中国・台湾・韓国・アメリカからの来訪が多数を占めている。2025年に「世界バラ会議」が開催されることもあり、今後もインバウンド数の増加が期待されている。
- ▶ 具体的なペルソナ像は下記のとおりである。



- 名前 : オリビア・スミス
- 年齢 : 62歳
- 国籍 : アメリカ
- 職業 : 退職者（元教師）
- 家族構成 : 夫と二人暮らし

### ■ 背景と目的

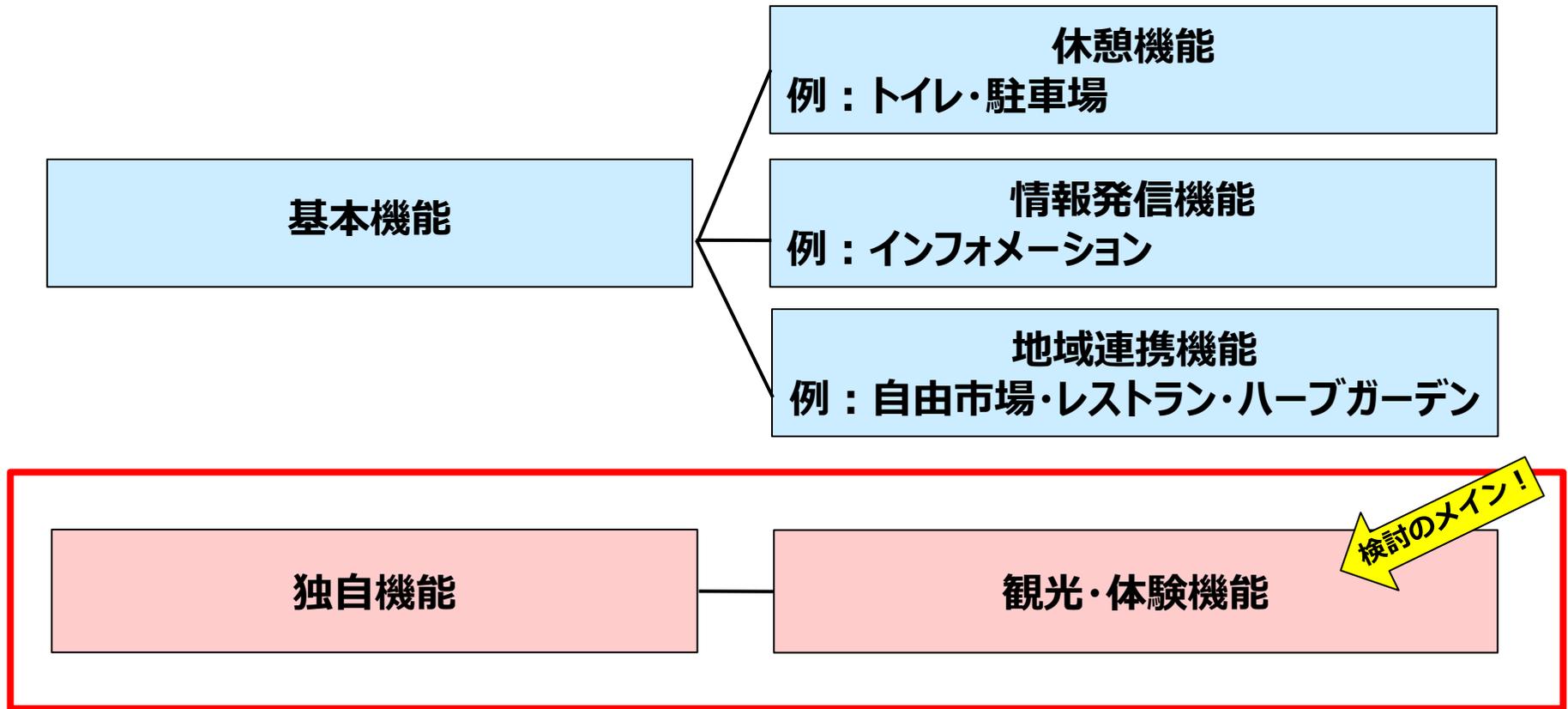
- ・退職後の時間を使って夫と一緒に世界各国を旅行している。
- ・日本の歴史や文化に強い興味を持ち、地方の文化を体験したいと考えている。
- ・道の駅アリストぬまくまで「地元の文化」や「歴史」に触れることを楽しみにしている。
- ・「地元の特産品」や「手工芸品」の購入を希望している。

### ■ 期待する体験

- ・地元の文化や歴史に関する展示やツアー。
- ・地元の工芸品や特産品を扱うショップ。
- ・地元の人々との交流イベントやワークショップ。
- ・英語対応のガイドや案内板。

# ～機能の全体像～

- 道の駅の機能としては、基本となる機能として、「休憩機能」「情報発信機能」「地域連携機能」が定められている。
- また、基本となる機能に加えて、道の駅独自で機能を設定することも可能である。
- 今回は、**今後の観光需要獲得の拡大に向けて、「観光・体験機能」をメイン**に据えて、協議・検討を行う。



# 観光・体験機能のトレンド～具体的な取り組み①～

- 道の駅における観光・体験機能、取り分け**地域の周遊を促す具体的な取り組み例**として、「**観光案内所の設置**」や「**レンタルサイクル・キックボードの貸し出し**」が挙げられる。

## 観光案内所の設置 (道の駅まえばし赤城)



ポイント：  
観光客を含む多くの人が集まる道の駅の特性を活かし、道の駅内に「**観光案内所**」を設置している。  
運営は「**公益財団法人前橋観光コンベンション協会**」が運営し、**各種観光案内や観光パンフレットの配布**を行っている。

## レンタルサイクルの実施 (道の駅まえばし赤城)



ポイント：  
赤城山などへの地域周遊を促すため、**地域周遊の足となる電動アシスト付スポーツ自転車「e-Bike」のレンタル**を行っている。  
貸し出しは左記の「**観光案内所**」にて行われている。

出典：  
・ <https://www.maebashi-cvb.com/feature/107/%E8%A6%B3%E5%85%89%E6%A1%88%E5%86%85%E6%89%80>

# 観光・体験機能のトレンド～具体的な取り組み②～

▶ 日本を訪れるインバウンド数の増加に伴い、「インバウンド」の需要獲得に向けた取り組みも進められている。

## インバウンド獲得に向けた取り組み (道の駅ようみいきいき館)



【チケットカウンターでの多言語表記】



【クレジットカード・電子マネー・QR決済への対応（免税対応も可）】



【施設内各所の英語表記】



【レストランメニューの英語表記】

ポイント：

「チケットカウンターでの多言語表記」、「クレジットカード・電子マネー・QR決済への対応(免税対応も可)」、「施設内各所の英語表記」、「レストランメニューの英語表記」などを通じて、インバウンドが利用しやすい工夫を施設に施している。また、案内施設は、日本政府観光局(JNTO)が認定する「**JNTO認定外国人観光案内所(カテゴリー1)**」に登録されている。(別冊参照)

# 優良事例の紹介～道の駅世羅・概要～

➤ 道の駅アリストめまくまと同じ広島県内にあり、経営面のみならず、観光・体験機能、地域への周遊の面において成果を上げている「道の駅世羅」の事例を取り上げる。道の駅世羅の概要は下記のとおりである。

施設名	道の駅世羅
所在地	広島県世羅郡世羅町川尻2402-1
開業年	2015年
運営者	一般社団法人 世羅町観光協会
機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物販機能</li> <li>・飲食機能</li> <li>・情報コーナー</li> <li>・トイレ</li> <li>・駐車場</li> <li>・宿泊施設(フェアフィード・バイ・マリOTT)</li> </ul>
ポイント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道432号に面し、隣接して尾道自動車道世羅ICがあり、世羅町の町の入り口に位置している。</li> <li>・立地及び、運営者が町の観光協会である点を活かして、「わたしたちは、観光協会として、世羅の観光施設や産直市場、飲食店などを周遊する拠点としての役割を担いたい。」をミッションに掲げ、町の観光周遊の拠点としての役割を果たしている。</li> <li>・具体的な取り組みとしては、町内周遊チケットの販売や年間70回以上のイベントの開催を行っている。また、WEB、SNSでの情報発信にも力を入れている。</li> <li>・人口約14,600人の町に対して、観光需要も取り込み、年間来場者数約28万人(令和5年度レジ通過者数・出典資料参照)を集める経営面の成果も上げている。</li> </ul>



【道の駅正面（左）とインフォメーション（右）】



【道の駅世羅 Instagram】

出典：  
 ・<https://00m.in/wofnU>  
 ・<https://www.cgr.mlit.go.jp/miyoshi/onomatu10syuunen/R6/seibikouka.pdf>

# 優良事例の紹介～道の駅世羅・概要～

➤道の駅世羅は、「**世羅町全体の観光・周遊の拠点**」としての機能も果たしている。



## 道の駅 世羅

Roadside Station SERA

世羅町には、日本有数のランニングコースがあります。  
幻想的な花畑もあります。  
甘い甘い果実も採れます。  
寒暖の差が激しく、農産物の育成に適した立地条件で育てられた新鮮野菜もあります。

世羅町には…

- 1 日本有数のランニングコースがあります
- 2 幻想的な花畑もあります
- 3 甘い甘い果実も採れます。
- 4 寒暖の差が激しく、農産物の育成に適した立地条件で育てられた新鮮野菜もあります。



世羅観光の拠点として



観光施設      産直市場  
飲食店      ランニングコース  
農園      果実園      花畑

わたしたちは、観光協会として、世羅の観光施設や産直市場、飲食店などを周遊する拠点としての役割を担いたい。

そんな想いで道の駅世羅の運営を行っています。  
野菜を買いたいというお客様は、お気軽にお声掛けください。  
近隣の産直市場をご紹介します。

本日は、道の駅世羅様より

- ・道の駅世羅の概要
- ・観光・体験(周遊)の取り組み
- ・取り組みに対する成果

についてご講演いただきます！！

## 5.参加者による意見交換

観光需要の獲得に向けた、道の駅の「各機能」における方向性・具体的な取り組みについて

- 例：
- ・道の駅においてできる地域の観光周遊を促進する取り組み
  - ・道の駅と連携が可能な資源・施設・プレイヤー、連携方法（地域ぐるみでの取り組み）
  - ・観光需要を取り込むために、提供すべき（ほしい）サービス

ファシリテーターが調整しますので自由にご発言ください。

MEMO

## 5.参加者による意見交換

MEMO

# ～南部地域 観光・体験資源の例～

- 観光・体験機能の実現に向けては、「地域の他の資源との連携が重要」という意見が寄せられた。
- 南部地域の資源の例として、「地域未来ビジョンの手引き」では下記のような例が区分ごとに挙げられている。

## 「地域未来ビジョンの手引き」に示されている 南部地域の資源例

自然資源	都市資源	産業資源	文化資源	施設資源	体験コンテンツ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸内海国立公園</li> <li>・仙酔島</li> <li>・走島</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海洋アクティビティ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・瀬戸内の地魚</li> <li>・沼隈ぶどう</li> <li>・田尻の杏・オリーブ</li> <li>・保命酒</li> <li>・鍛造</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鞆の浦の町並み</li> <li>・お手火神事</li> <li>・能登原とんど</li> <li>・沼名前神社</li> <li>・太田家住宅</li> <li>・阿伏兔観音</li> <li>・常国寺</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろは丸展示館</li> <li>・神勝寺禅と庭のミュージアム</li> <li>・クレセントビーチ</li> <li>・道の駅アリストぬまくま</li> <li>・平家谷花しょうぶ園</li> <li>・平家谷つばき園</li> <li>・ツネイシしまなみビレッジ</li> <li>・内海ふれあいホール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民泊体験</li> <li>・クルージング・カヌー</li> <li>・砂風呂・江戸風呂体験</li> <li>・漁業体験（底曳・のり養殖等）</li> <li>・鍛造体験</li> <li>・座禅体験</li> <li>・鞆潮待ちガイドツアー</li> <li>・鞆竜馬コースツアー</li> <li>・キャンプ</li> <li>・スポーツ合宿</li> </ul>



**Confidential**

**令和6年度  
第4回 道の駅アリストぬまくま あり方懇談会  
別冊資料**

**株式会社船井総合研究所  
2025年1月29日**

# 目次

- 1. インバウンド獲得に向けた取り組み  
～JNTO認定外国人観光案内所について～**
- 2. 基本機能について**
- 3. 防災機能について**
- 4. SDGs関連の取り組みについて**

# 1. インバウンド獲得に向けた取り組み ～JNTO認定外国人観光案内所について～

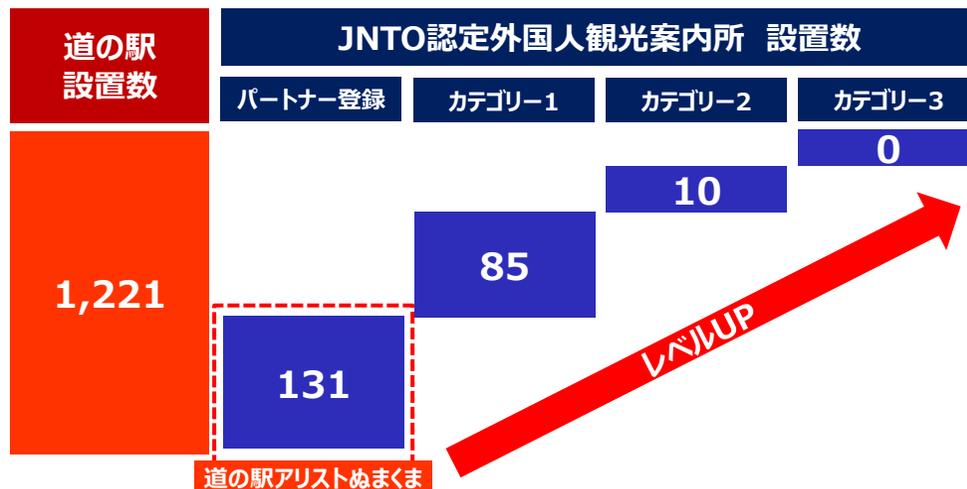
- 日本政府観光局（以下、JNTO）では、平成24年度より、外国人観光案内所の認定制度を運用している。
- 認定制度は、JNTOが募集を行い、案内所を立地・機能等により3つのカテゴリー及びパートナー施設に分け認定している。
- 認定は、3年ごとの更新制とし、JNTOによる通訳サービスや研修会の実施等の支援サービスを提供している。
- JNTOでは、外国語ウェブサイトや海外事務所を通じてJNTO認定外国人観光案内所ネットワークの情報を海外にPRしている。

認定制度の概要

役割	分類のイメージ			
	分類	求められる機能	求められる立地場所	設置目標
【国(観光庁)】 運営方針 の策定				
【JNTO】 認定・支援 プロモーション の実施 各観光案内所 における外国人 旅行者対応をサ ポートすると同 時に、ステップ アップを実現す るサービスを提供	カテゴリー Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆地域内の交通や観光情報などを提供できる。</li> <li>◆外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲がある。</li> <li>◆常時英語対応が可能であり、地域の観光情報、地図等を旅行者に提供できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外国人旅行者の最終目的地となり、ローカルな情報の提供が求められる地域。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外国人旅行者の受入が見込まれる市町村に少なくとも1以上設置する。</li> </ul>
	カテゴリー Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆カテゴリーⅠの機能に加えて、都道府県や広域エリア内の交通や観光情報などを提供できる。</li> <li>◆常時英語対応が可能で、地域情報はもちろんのこと、周辺を含む広域の観光情報、地図等を旅行者に提供できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外国人旅行者が、観光の拠点として多く利用し、ローカルな情報に加え、次の移動先などの広域的な情報の提供が求められる地域。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆都道府県に少なくとも1以上設置し、全国的な受け入れ体制を整備する。</li> <li>◆多くの外国人旅行者が訪れるような交通結節点に設置する。</li> <li>◆外国人旅行者の受入に積極的な都市に設置する。</li> </ul>
	カテゴリー Ⅲ	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆カテゴリーⅠ、Ⅱの機能に加えて、全国の交通や観光情報などを提供できる。</li> <li>◆常時、英語を含む3以上の言語による対応が可能であり、全国レベルの観光情報、地図等を旅行者に提供できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外国人旅行者が最初に訪れる地域。</li> <li>◆外国人旅行者が特に多く訪れる観光地。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外国人旅行者が多く利用する交通結節点に設置する。</li> <li>◆我が国の国際的な観光地となる都市に設置する。</li> </ul>
	パート ナー 施設	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲があり、公平・中立に配慮して地域の観光情報、地図等を提供できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆外国人旅行者を積極的に受け入れる意欲のある地域。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆全国各地で設置が進むことが望ましい。</li> </ul>



JNTO認定  
外国人観光  
案内所のシ  
ンボルマーク



広島県におけるJNTO認定外国人観光案内所を設置する道の駅（カテゴリー1以上）



# ～優良事例の紹介 道の駅ニセコビュープラザ～

- ▶ 北海道ニセコ町にある「道の駅ニセコビュープラザ」では、JNTO認定外国人観光案内所（カテゴリ1認定）を設置。
- ▶ 「情報プラザ棟」、「リースペース棟」、「トイレ棟」の3棟からなり、ゆったりとしたスペースにはニセコの観光情報が充実している。
- ▶ 施設への外国人来訪客数は、オンシーズンの平均的な値として11～50人/日となっている。
- ▶ 滞在型観光の拠点化に向け観光コンシェルジュ等により情報機能を拡充させている。

施設名	道の駅ニセコビュープラザ
所在地	北海道虻田郡ニセコ町字元町77-10
設置年月	1997年4月
運営者	株式会社ニセコリゾート観光協会
アクセス	国道5号と道道岩内洞爺線が交差するポイントに立地
駐車場台数	普通車101台、大型車10台、身障者用2台
保有機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食施設（軽食）</li> <li>・休憩施設（トイレ、ベンチ）</li> <li>・物販施設（土産品、地元農産品）</li> <li>・案内施設：JNTO認定外国人観光案内所（カテゴリ1）</li> </ul>
インバウンド対応 取組概要	地域を支える観光と農業の2つの産業を結びつける場の創出（免税向け地場産品の開発等）



【道の駅ニセコビュープラザ 外観と俯瞰図】



【国際対応型の観光案内所】



【充実した特産品売り場】

## 2. 基本機能について

### ～休憩機能～

- 基本機能の内「休憩機能」についてはトイレ・駐車場が該当する。利用者アンケート・市民アンケート・市民向けワークショップ・懇談会の意見から見えてくるポイントは次の通りである。

#### 休憩機能の概要と分析

- ✓ 道の駅アリストぬまくまにおける休憩機能はトイレと駐車場が該当する。
- ✓ **トイレの満足度は約77%**(利用者アンケートにて「利用したことがない」を除き、「大変満足」「おおむね満足」「普通」と回答した割合)であり高い水準である。市民アンケートの結果等を踏まえると今後は「清潔さ」の改善がポイントになると考えられる。
- ✓ 駐車場については、懇談会等の各種検討において、**駐車台数の「不足」**が意見として挙げられている。再整備に当たっては、駐車場の拡張(現イベントスペースの活用等)が望まれる。

#### 懇談会等での意見

- ・利用者としては駐車場が1番の課題であると感じている。駐車場にある植栽を多少整理するだけでも変化するのではないか。
- ・駐車台数の不足は課題だと感じている。
- ・駐車場には観光バスが発着できる場所があった方が良いのではないかと。観光バスの需要についても調査する必要があると考える。
- ・駐車場に大型車両が停まっていたら、駐車しにくい。駐車場を広くして欲しい。
- ・トイレについては、より清潔さや使いやすさが向上したら嬉しい。

#### 市民アンケートからの改善点(トイレ)

No.	全体	n	%
	全体	800	100.0
1	施設の清潔さ	475	59.4
2	施設(個室、手洗い場等)の広さ	74	9.3
3	照明の明るさ	42	5.3
4	トイレトーパーやハンドソープの常時補充	36	4.5
5	トイレの案内表示の改善	19	2.4
6	芳香剤や音楽の導入による環境改善	10	1.3
7	子ども用設備の充実	45	5.6
8	バリアフリーへの対応	47	5.9
9	その他	52	6.5



【トイレ・事務所棟(左)と駐車場(右)】

# ～情報発信機能～

- 基本機能の内「情報発信機能」についてはインフォメーションが該当する。利用者アンケート・市民アンケート・市民向けワークショップ・懇談会の 意見から見えてくるポイントは次の通りである。

## 情報発信機能の概要と分析

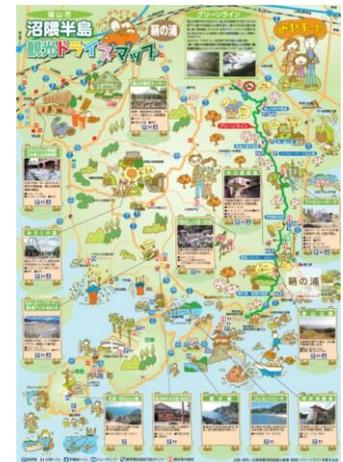
- ✓ 道の駅アリストぬまくまにおける情報発信機能はレストラン棟内にあるインフォメーション・休憩スペースが該当する。
- ✓ **インフォメーションの満足度は約93%**(利用者アンケートにて「利用したことがない」を除き、「大変満足」「おおむね満足」「普通」と回答した割合)であり高い水準である。
- ✓ 今後は地域住民へのインフォメーション・休憩スペースの提供だけでなく、**観光需要への対応・獲得に向けて、地域の観光情報や特産物の発信を積極的に行っていくことが望まれる。**

## 懇談会等での意見

- ・以前あった「ドライブマップ」はもうなくなってしまったのか。
- ・情報発信について、SNS等での情報発信頻度が低いため、より高頻度で情報発信及びイベントの開催が必要なのではないか。
- ・周辺観光地を集約した情報サイトが現状存在しないため、道の駅がそのハブを担えたら良いのではないか。

## 市民アンケートからの改善点(インフォメーション)

NO.	全体	n	%
1	地域の観光情報の発信	231	28.9
2	地域の特産物の発信	242	30.3
3	地域イベントの発信	189	23.6
4	行政情報の発信	31	3.9
5	地域のコンシェルジュ(案内)サービス	68	8.5
6	その他	39	4.9



【レストラン棟正面(上)

インフォメーション・休憩スペース(下)】

【沼隈半島マップ】

# ～地域連携機能・自由市場～

- 基本機能の内「地域連携機能」については「自由市場」「レストラン」「ハーブガーデン」に大別される。その内、自由市場において、利用者アンケート・市民アンケート・市民向けワークショップ・懇談会の意見から見えてくるポイントは次の通りである。

## 自由市場の概要と分析

- ✓ 自由市場においては、新鮮な野菜・鮮魚を数多く取り扱い、足元商圏のリピーターを引き付けている。
- ✓ **満足度も約94%**(利用者アンケートにて「利用したことがない」を除き、「大変満足」「おおむね満足」「普通」と回答した割合)と非常に高い水準である。
- ✓ 市民アンケートから改善点を見ると、「商品価格の安さ」、「野菜が新鮮」、「取り扱い品目が豊富」が上位に挙げられる。今後は**現状の良い商品群を活かしつつ、更なる商品のブラッシュアップ(例：観光需要向けの名物商品)**をしていくと良いと考えられる。

## 市民アンケートからの改善点

No.	全体	n	%
1	野菜が新鮮	146	18.3
2	鮮魚が新鮮	87	10.9
3	取り扱い品目が豊富	130	16.3
4	安全・安心な商品の取り扱い	68	8.5
5	生産者とのふれあいが可能	18	2.3
6	地域ならではの商品	124	15.5
7	商品価格の安さ	147	18.4
8	店内の広さ	20	2.5
9	店内の清潔さ	35	4.4
10	その他	25	3.1

## 懇談会等での意見

- ・「鮮魚」については需要に対して、量が少ないのが課題である。
- ・販売単価が低いことが弱みとして挙げられ、肉類・鮮魚類の販売は販売単価向上につながると考えられる。
- ・福山市のHPの道の駅の紹介では「海苔」と「ぶどう」がおすすめされているが、道の駅ではそこまで押し出しているように感じられないのが課題である。
- ・「福山市唯一の道の駅」という状況を活かして、福山産品を集積する等の方向性で再整備するのも一案である。
- ・そこでしか売っていないような「名物品」の開発が必要である。



【自由市場棟正面（左）と鮮魚（右）】

# ～名物商品(キラークンテンツ)の開発～

- 自由市場への意見としては、「名物商品(キラークンテンツ)」の開発に対する要望が多数挙げられている。
- 名物商品の一例としては、「メロンパン」、「抹茶関連のスイーツ」が挙げられる。
- 他の道の駅の名物商品を参考にしながらも、**地域の資源・特性に合った商品の開発**が望まれる。

## メロンパン (道の駅常総)



ポイント：  
茨城県の特産品のメロンを用いて「メロンパン」を販売。  
季節限定のメロンパンを販売する等変化を持たせて、人気を集めている。  
「8時間で最も多く売れた菓子パン」のギネス記録にも挑戦し、8時間で9,390個の販売記録を打ち立てて、見事記録更新を達成した。



鮮魚

## 抹茶関連の商品 (道の駅みなみやましろ村)



ポイント：  
特産品の抹茶を用いて多数の抹茶商品を展開し、人気を集めている。(特に、抹茶ソフトは年間約50万本を売り上げている。)  
抹茶商品目当ての観光需要も獲得し、人口約2,500人の村に対して、道の駅全体で売上約6億円を上げており、道の駅の経営・地域経済に貢献している。



沼隈ぶどう

出典：  
・<https://www.michinoeki-joso.com/shop03.html>  
・<https://michinoeki.kyoto.jp/>  
・<https://www.michi-no-eki.jp/stations/views/19578>  
・<https://item.rakuten.co.jp/f342076-fukuyama/fu23021/>

# ～地域連携機能・レストラン～

- 基本機能の内「地域連携機能」については「自由市場」「レストラン」「ハーブガーデン」に大別される。その内、レストランにおいて、利用者アンケート・市民アンケート・市民向けワークショップ・懇談会の意見から見えてくるポイントは次の通りである。

## レストランの概要と分析

- ✓ レストランにおいては、地元食材やハーブ等を活用した手頃なメニューを取り扱い、昼食の時間帯には賑わいを見せている。
- ✓ **満足度も約97%**(利用者アンケートにて「利用したことがない」を除き、「大変満足」「おおむね満足」「普通」と回答した割合)と非常に高い水準である。
- ✓ 市民アンケートから改善点を見ると、「ここでしか味わえないオリジナルメニュー」が上位に挙げられる。今後は**現状の良い商品群を活かしつつ、更なる商品のブラッシュアップ**をしていくと良いと考えられる。

## 懇談会等での意見

- ・メニュー数はちょうど良く、味も美味しいのが強みであると思う。
- ・ランチのメニューがもっと増えると嬉しいです。
- ・レストランは何を食べても美味しいのでよく来ています。パンも安くて、変わったのがあって好きです。
- ・パンが安くて美味しい。
- ・パンがとてもおいしく気に入ってますので、売り切れても補充して頂けると嬉しいです。(午後にはほとんどパンがないため)
- ・レストランでは英語表記を聞かれることが以前より増えたため、現在メニュー表等において英語表記を増やす取り組みを進めている。

## 市民アンケートからの改善点

No.	全体	n	%
1	ここでしか味わえないオリジナルメニュー	248	31.0
2	地域の特産物の利用	94	11.8
3	商品価格の安さ	117	14.6
4	メニューの豊富さ	102	12.8
5	待ち時間の短さ	33	4.1
6	地域ならではの商品	77	9.6
7	子供連れでも利用しやすい	49	6.1
8	店内の広さ	12	1.5
9	店内の清潔さ	31	3.9
10	その他	37	4.6



【ハーブ唐揚げ（左）とパン・ドリンクレジ（右）】

# ～レストランのメニューの再考～

- レストランのメニューについては、好評の意見が多数を占めるものの、観光需要の獲得に向けて、一度再考を行っても良いと考えられる。
- 一例として、飲食機能を通じて、足元需要のみならず観光需要の獲得にも成功している「道の駅常総」の飲食メニューを紹介する。



## 「道の駅常総」で展開されている飲食メニュー



【常陸牛 焼き牛めし定食 2,280円】



【豊田城ソースかつ丼定食 1,880円】



【常陸牛ハンバーグ 贅沢オムバーグ 1,600円】



【海鮮ばくだんねばねば定食 1,580円】



【常総 白菜ベジポタラーメン 850円】



【絶景 海鮮豊田城 総重量2kg(2~3人前) 5,000円】

ポイント：

地元茨城県の「常陸牛」「ローズポーク」「卵」「納豆」「野菜」等を用いた商品を展開している。また、「絶景 海鮮豊田城」のような話題性を生む商品を展開し、道の駅全体の集客に貢献している。

出典：

・<https://www.atpress.ne.jp/news/352939>

# ～地域連携機能・ハーブガーデン～

- 基本機能の内「地域連携機能」については「自由市場」「レストラン」「ハーブガーデン」に大別される。その内、ハーブガーデンにおいて、利用者アンケート・市民アンケート・市民向けワークショップ・懇談会の意見から見えてくるポイントは次の通りである。

## ハーブガーデンの概要とポイント

- ✓ ハーブガーデンにおいては、ハーブの苗やアロマグッズを取り扱っている。
- ✓ **満足度は約95%**(利用者アンケートにて「利用したことがない」を除き、「大変満足」「おおむね満足」「普通」と回答した割合)と非常に高い水準である。
- ✓ 一方で、利用率は約18%(利用者アンケート「今回道の駅アリストめまぐまで利用した施設を教えてください。」より抜粋)と高くはないため、今後は更に利用率を高めるために商品や、打ち出し方の見直しを行うと良い。

## 懇談会等での意見

- ・植物等が見えやすいように、裏側ではなく正面の位置にあれば良い。
- ・園芸用品の充実を希望します。
- ・ハーブガーデンにもっと観葉植物が欲しい。

## 市民アンケートからの改善点

No.	全体	n	%
1	普段購入できない商品	229	28.6
2	幅広い世代が楽しめる商品	235	29.4
3	商品価格の安さ	180	22.5
4	館内の広さ	50	6.3
5	館内の清潔さ	61	7.6
6	その他	45	5.6



【ハーブガーデン正面（左）と内部（右）】

# 3. 防災機能について

## ～優良事例の紹介 ①道の駅うきは～



- 福岡県うきは市にある「道の駅うきは」はハードの設備整備とソフト施策による取り組みを組み合わせた総合的な防災拠点である。
- ハード設備では防災コンセプトを決め、駐車場の規模や動線計画、防災倉庫の整備など必要な設備を整備した。
- ソフト施策では策定したBPOの認知拡大を目的とした研修等に取り組んでいる。

施設名	道の駅うきは
所在地	福岡県うきは市浮羽町山北7 2 9-2
設置年月	2000年4月
運営者	うきはの里株式会社
アクセス	大分自動車道 杷木ICから約5km
駐車場台数	大型車：9台 普通車：169台
保有機能	・物販機能、直売機能、飲食機能、レジャー機能
取り組み内容	ハード・ソフトの両面から整備する総合的な防災拠点
取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域的な支援を可能にするため、「緊急車両の集結拠点」「道路復旧拠点」「ボランティア支援」「物資輸送の中継拠点」という整備コンセプトを策定。</li> <li>・災害時に道の駅が迅速に防災機能を発揮し、早期に営業再開するための業務継続計画（BCP）を策定し、BCPに基づく訓練も実施している。</li> <li>・<b>停電・断水中でも使用可能なコンテナ型トイレ</b>を導入し、広域的な大災害等にも対応。</li> <li>・九州豪雨災害では宿营地として活用、<b>能登半島地震の際にはコンテナ型トイレの派遣等の実績がある。</b></li> </ul>



- 防災用コンテナ型トイレの特徴**
- ・災害時に移動して使えるコンテナ型の水洗トイレ（平常時は、道の駅「うきは」に設置）
  - ・太陽光発電装置を搭載し、商用電源への接続が不要
  - ・浄化システムを搭載し、上水道・下水道への接続、汲み取りが不要
  - ・停電、断水中でも使用可能

【防災用コンテナ型トイレ】



- BCPに基づく訓練の内容**
- 開催日時：令和5年5月9日（火）  
 開催場所：道の駅「うきは」  
 参加者：道の駅「うきは」(従業員一同)、福岡国道事務所、うきは市
- 内容
- ① BCPに関する講義
  - ② シェイクアウト、安否確認訓練
  - ③ 災害初期の情報伝達訓練

【BCPに基づく訓練】

出典：  
 ・国土交通省 道の駅報道資料：https://www.mlit.go.jp/report/press/road01\_hh\_001741.html  
 ・「防災道の駅「うきは」における 総合的な防災機能の構築に関する取組」  
 https://www.jcca.or.jp/files/achievement/hokoku\_etc/r06gyomukenkyu/3-3.pdf

## ～優良事例の紹介 ②道の駅あらい～

- ▶ 新潟県妙高市にある「道の駅あらい」では主にソフト施策による地域向けへの防災意識醸成に取り組んでいる。
- ▶ 豪雪地帯である妙高市では、雪による土砂災害や融雪災害が多発しており、防災拠点として道の駅が整備された。
- ▶ 防災訓練やイベントを通じて、地域住民へ道の駅が防災の拠点であることを伝達している。

施設名	道の駅あらい
所在地	新潟県妙高市猪野山58-1
設置年月	1999年8月
運営者	妙高ふるさと振興株式会社
アクセス	上信越自動車道新井PA・スマートICより約5分
駐車場台数	大型：12台 普通車：450台
保有機能	・物販機能、直売機能、飲食機能、宿泊機能
取り組み内容	ソフト施策をメインにした防災の取り組み
取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豪雪地帯であるため、土砂災害や融雪災害への対応が求められている。</li> <li>・そのため、<b>地域住民や関係者を巻き込んだ防災訓練や防災イベントを開催</b>し、防災に対する意識醸成と道の駅が防災拠点であることを周知している。</li> <li>・能登半島地震の際には、<b>いしがた下越駅長交流会や全国「道の駅」女性駅長会が中心になり、各駅の備蓄品を「道の駅あらい」に集積し、被災地の道の駅「のと里山空港」へ輸送を行った。</b></li> </ul>



【防災訓練】



【防災イベント】



【被災地への輸送の様子】

出典：

- ・ <https://www.joetsu.ne.jp/229555>
- ・ <https://www.yukiguni-journey.jp/30714/>
- ・ [https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/michi-no-eki\\_third-stage/pdf09/05.pdf](https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/michi-no-eki_third-stage/pdf09/05.pdf)

# 4. SDGs関連の取り組み

## ～優良事例の紹介 ①道の駅どまんなかたぬま～



- 栃木県佐野市にある「道の駅どまんなかたぬま」では駐車場の屋根にソーラーパネルを設置し、再エネ利用に取り組んでいる。
- 駐車スペース約350台分の屋根に設置し、総事業費は約5.5億円である。
- 平時は利用者の屋根として利便性を高め、非常時は蓄えられたエネルギーを蓄電池を通して非常用電源として供給される。

施設名	道の駅どまんなかたぬま
所在地	栃木県佐野市吉水町3 6 6-2
設置年月	2001年11月
運営者	株式会社どまんなかたぬま
アクセス	佐野田沼 I Cを降りて県道16号線（佐野田沼線）を右折。直進のみ。約2km先右側。
駐車場台数	普通車420台、大型車22台、身障者用10台
保有機能	<ul style="list-style-type: none"><li>・物販機能</li><li>・農産物直売所機能</li><li>・飲食、軽食機能</li><li>・キッズスペース</li><li>・ホール</li></ul>
取り組み内容	駐車場を活用したメガソーラー発電所の設置
取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・道の駅の北側にあった約5,000㎡の屋外駐車場を屋根付きに改装するとともに、屋根上に太陽光パネルを設置。</li><li>・駐車スペースは350台分で、出力は約1.1MW。</li><li>・鉄骨柱に折板屋根を取り付け、その上にパネルを固定。</li><li>・平常時は雨を防ぐ屋根として、災害時は蓄電池として活用可能。</li><li>・蓄電池の容量は10kWh分。(5kWh/台×2台)</li><li>・総事業費は5億5,000万円。地元の足利銀行から融資を受けた。</li><li>・設計はフケタ設計(宇都宮市)、施工は渡辺電設(栃木県足利市)と共に地元企業が実施した。</li></ul>



【道の駅どまんなかたぬま 太陽光パネル】



【平常時は屋根として機能】



【非常時用の蓄電池】

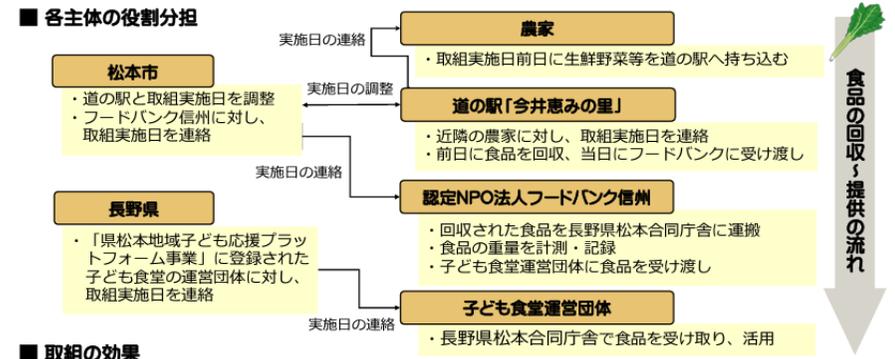
# ～優良事例の紹介 ②道の駅いまい恵みの里～

- 長野県松本市にある「道の駅いまい恵みの里」では行政・NPO等と連携し規格外の農産物を子ども食堂へシェアする活動に取り組んでいる。
- 取り組みで回収した食品量は約1,000kgに上り、域内の地産地消などに一定の効果が表れている。

施設名	道の駅いまい恵みの里
所在地	長野県松本市今井 8 8 6 - 2
設置年月	2009年8月
運営者	株式会社今井恵みの里
アクセス	長野自動車道 松本ICから 約25分 長野自動車道 塩尻北ICから 約10分
駐車場台数	普通車71台 大型19台 身障者用2台
保有機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農産物直売所機能</li> <li>・飲食異能</li> <li>・交流施設</li> </ul>
取り組み内容	道の駅を中心としたフレッシュフードシェア事業
取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農家から回収した規格外品を道の駅に集約し、子ども食堂団体へ寄付している。</li> <li>・まずは農家が道の駅へ規格外の生鮮野菜等を持ち込み、認定NPO法人フードバンク信州が回収し、食品を長野県松本合同庁舎に運搬している。</li> <li>・その後、庁舎に集まった子ども食堂運営団体が相談のうえ分配。</li> <li>・実施頻度は月2回程度。</li> <li>・令和元年度に延べ12回本取り組みを実施した。</li> <li>・回収した食品量：約1,036kg。</li> <li>・寄附される食品は、その時期に収穫量が多い野菜が主である。(例：5月 ほうれんそう等)</li> </ul>



【道の駅いまい恵みの里】



# Roadside Station

一般社団法人世羅町観光協会  
事業部長 西原 淳

## Roadside Station / 整備概要

- 敷地面積 / 約9,300㎡（うち建物面積 約740㎡）
- 事業主体 / 世羅町
- 事業年度 / 平成26年度
- 整備手法 / 単独型
- 事業費 / 6.4億円
- 施設概要 / 駐車場162台 大型10台 小型63台（うちEV急速充電用スペース2台）  
身障者用2台 第2駐車場87台  
トイレ13器 男性用（小：5器・大：2器） 女性用（5器） 多機能（1器）  
休憩コーナー 情報発信スペース（インフォメーションコーナー・アンテナショップ）
- 開設時間 / 自販機・休憩コーナー・トイレ・駐車場 0時00分～24時00分（24時間）  
アンテナショップ 8時～18時 レストラン 10時～18時（L.O：15時00分）

## Roadside Station / 整備概要

平成13年 3月 フルーツロード開通

平成16年10月 3町合併（旧世羅西町・旧世羅町・旧甲山町）

平成18年 4月 せら夢公園・せらワイナリー、オープン

《町内の花観光や果樹観光が人気を集め、観光施設が増加》

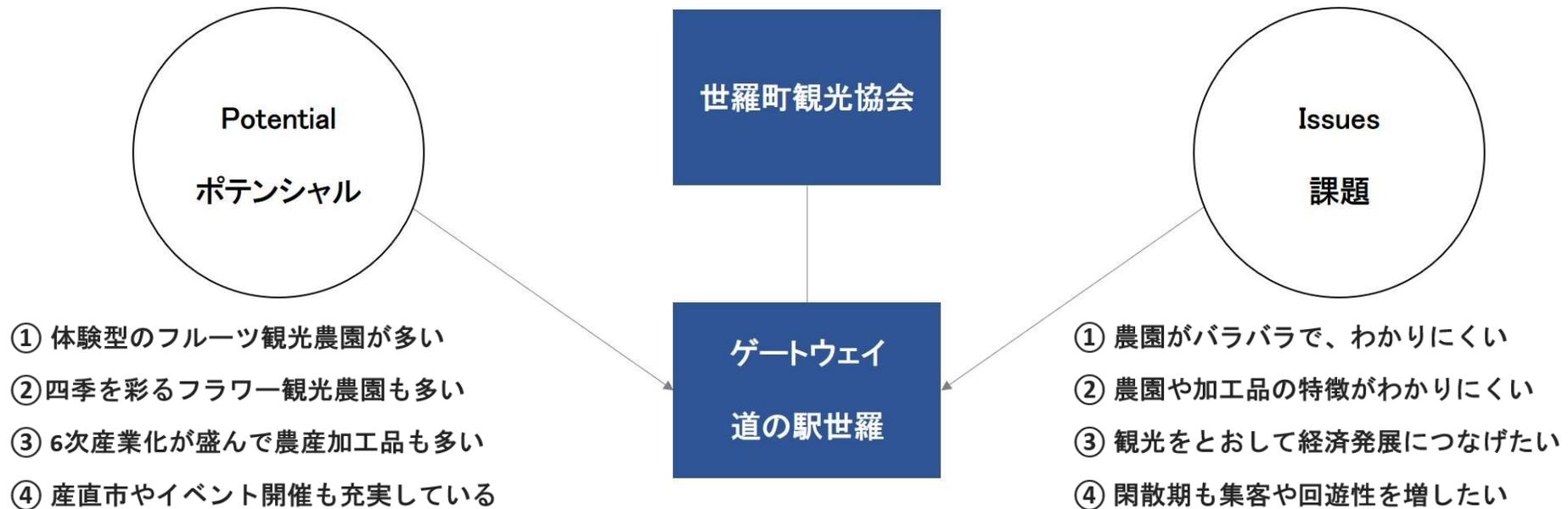
平成23年 4月 広島中央フライトロード開通

平成26年 8月 一般社団法人世羅町観光協会設立

平成27年 3月 中国横断自動車道尾道松江線開通

平成27年 5月 広島県内で18番目の「道の駅」としてオープン

# Roadside Station / 整備概要



もっと来てほしい。もっと回遊してほしい。もっと世羅を好きになってほしい。

## 世羅の観光施設と商品のブランド力向上のための町内周遊を促す仕組みづくり

- ① 観光コンシェルジュがきめ細やかな情報提供
- ② 「せら高原開花情報」をリアルタイムで発信
- ③ 新鮮な野菜や果実の入荷状況をお知らせ
- ④ 世羅町を食べつくそう！飲食店情報はこちら
- ⑤ 地域の魅力を再発見 体験メニューの紹介
- ⑥ 行政との連携 せらめぐり花めぐりチケット
- ⑦ 電動アシスト自転車で周遊 コースやサイクルオアシス
- ⑧ 地域と連携した多彩なイベント

## Roadside Station / 町内周遊を促す仕組みづくり

### ①観光コンシェルジュが きめ細やかな情報提供

「せらインフォメーションカウンター」に観光コンシェルジュを置き、町内の観光施設や飲食店を周遊する際の旬な情報を提供しています。パンフレットは極力お客様に手渡しすることで会話も弾み、多くの「ありがとう」をいただいています。情報共有には一冊の大学ノートを用意。シンプルですが、現場の声を積み重ねることにより、生きたマニュアルになりました。



# Roadside Station / 町内周遊を促す仕組みづくり

## ②「せら高原開花情報」 をリアルタイムで発信

世羅町には花農園が7か所あり、花を楽しめる約9か月の間、開花情報を「せらインフォメーションカウンター」やホームページだけでなく、希望する旅行会社・メディア・観光関連団体へFAX又はメールでお知らせしています。情報の更新については、各農園から前日までに情報をいただき、毎週金曜日に（4・5月は火曜日も加えた週2回）行っています。



# Roadside Station / 町内周遊を促す仕組みづくり

## ③新鮮な野菜や果実の 入荷状況をお知らせ

町内にある6つの直売所の入荷状況を把握できるシステムを導入することで、お客様自身がそのときに欲しい農産物をホームページで閲覧することができるようになりました。入荷情報は各直売所が更新しています。この取り組みは、情報発信拠点として整備された道の駅「世羅」だからこそ必要とされるもの。道の駅に求められる「情報発信機能」が更に充実しました。



【直売所ご紹介】



# Roadside Station / 町内周遊を促す仕組みづくり

## ④世羅町を食べつくそう！ 飲食店情報はこちら

町内の飲食店への周遊を促すために、現場スタッフの「あったらいいな」を自分たちで形にしたものです。宿泊特化型ホテル「フェアフィールド・バイ・マリオット・広島世羅」が開業するタイミングで、食事難民対策としてリニューアル。各店舗の電話番号・営業時間・定休日・キャッシュレス決済の可否を、洋食、中華、和食などの料理ジャンル別に紹介しています。



## ⑤地域の魅力を再発見 体験メニューの紹介

世羅町内の果樹園では、梨狩りをはじめとした果物狩りを楽しむことができますが、道の駅の周辺には、訪れてほしい魅力ある場所や、知ってもらいたい活動などがたくさんあります。アスパラガスの収穫体験、おばあちゃんのかりんとう作り、はじめての陶芸体験、どぶろく工場見学…。地域を知ればもっと楽しくなるきっかけを、商品と関連付けながら紹介しています。



## ⑥行政との連携 せらめぐり花めぐりチケット

お越しいただく皆様に「世羅町内でもっと楽しい時間を過ごしてもらいたい」「世羅町内の色々な場所をめぐってもらいたい」との思いから「せらめぐり花めぐりチケット」を販売しています。対象施設のおもてなしサービス加盟店で利用すると、4千円で5千円分の金券になるだけでなく、さらに割引やプレゼントなどの特典も受けることができるお得なチケットです。



## ⑦電動アシスト自転車で周遊コースやサイクルオアシス

主にインバウンドに町内を周遊してもらおうと、サイクリングを楽しめる環境整備に力を入れています。サイクリスト専用の駐車場や修理工具を備えた休憩所を配備。空気入れやスパナなどの工具を自由に使えるようになりました。昨年から電動アシスト自転車の本格的な貸し出しやコースマップの配布もスタート。マップはスタッフが自転車で町内を回り手作りしました。

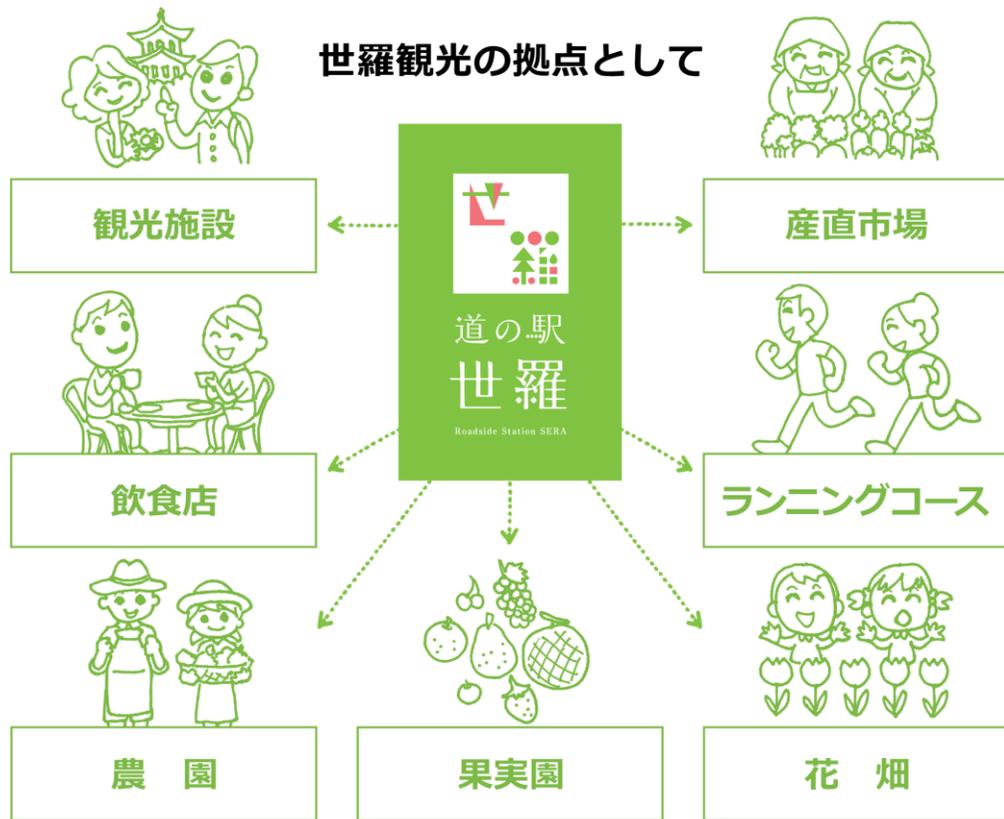


## ⑧地域と連携した 多彩なイベント

「毎日が世羅祭り」を掲げ、多い年で80日以上イベントを開催してきました。この日は、道の駅から北へ1キロの交流田で行われる「枝豆まつり」とコラボ。枝豆を収穫したら道の駅へお持ち帰り。BBQでご当地食材を味わっていただきました。道の駅では町内で行われるイベント情報を随時募集。地域資源を活かした魅力ある取り組みを来訪者にお届けしています。

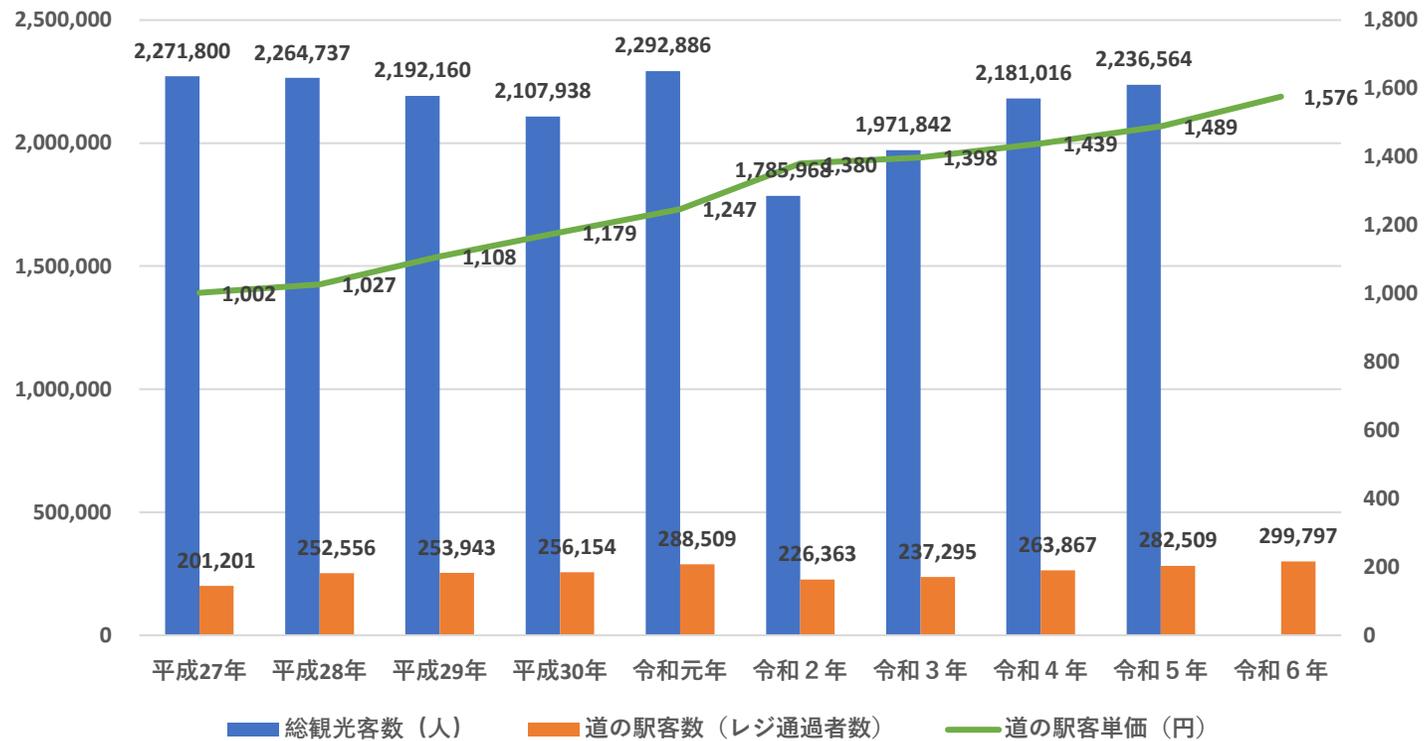


# Roadside Station / 町内周遊を促す仕組みづくり



# Roadside Station / 取り組みの成果

世羅町 総観光客数・観光消費額



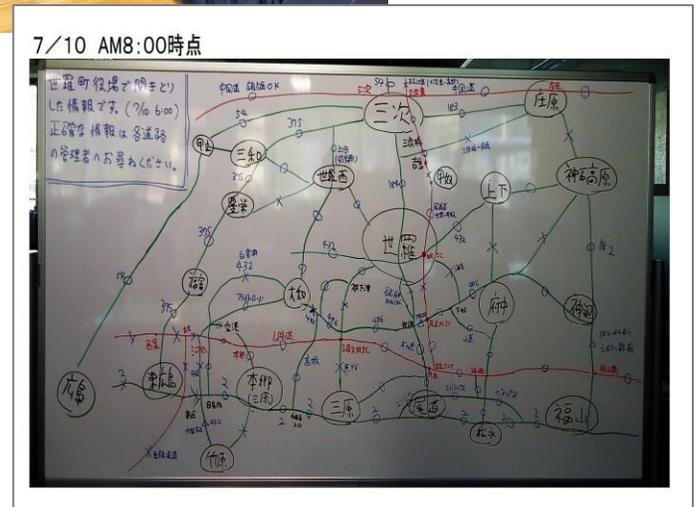
平成27年5月23日  
道の駅世羅オープン | 営業期間8ヶ月)

令和2年4月23日～5月6日  
新型コロナウイルス大流行 | 完全休業・通販強化

令和5年5月8日  
新型コロナウイルス5類移行

## 設置者と運営者の連携 密な情報共有

道の駅世羅では、担当課である世羅町商工観光課と毎週火曜日 10時～、定例ミーティングを実施しています。日々、道の駅のあり方・目指す方向性を共有することで、その目標や目的に向かって連携することができるようになりました。また、平成30年7月豪雨の際は、町道及び世羅町周辺の道路状況について、スムーズな情報共有を行うことにもつながりました。



本日は、ありがとうございました。



一般社団法人世羅町観光協会

事業部長 西原 淳